



波 濤

<https://hatoh.net/>

第 6 7 号

発行 放送大学神奈川同窓会
編集委員会
責任者 金田 保男
発行日 2024年7月25日
会員数 594名(2024年4月1日現在)

物流の2024年問題およびDXの流れ



神奈川同窓会会長 金田保男
2024年(令和6年)元日早々能登半島が思わぬ大地震(令和6年能登半島地震)により甚大な被害が発生しました。半島特有の地形にもより、復旧・復興がなかなか進まず今

なお困難な生活を余儀なくされている方も多く、被災者の方々にお見舞い申し上げます。

【物流の2024年問題】

2024年度を迎えるに当たり、以前から「物流の2024年問題」が取りあげられており、その影響や対策を考えておりました。この問題は物流業界だけの問題ではなく、同窓会会員のコミュニケーションの在り方にも関わりが大きく、今後の書類等の郵送に影響が出てきます。物流業界では効率的な配送方法に向け、業務提携やモデルシフト等を実施していますが、コストアップは避けられない状況です。具体的には宅急便による書類の郵送等は2024年2月以降、総務省によると郵便物の値上げは2024年秋ごろから予定されており、コストの面からも『波濤』の印刷物郵送継続が難しくなります。

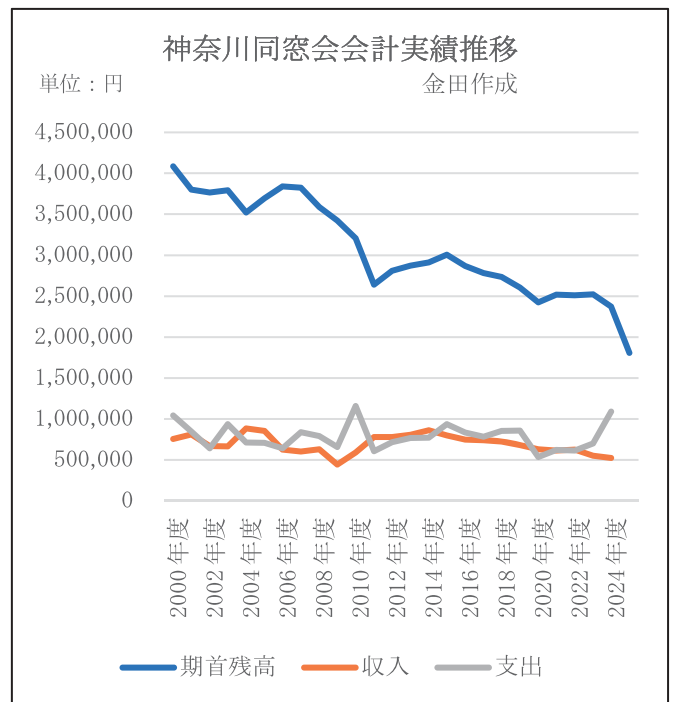
【DXの流れ】

放送大学の「教学 Vision2027」には、中期計画にあるようにDX(Digital Transformation: デジタル変革)により、どんな将来を目指しているかが謳われています。既にIBT化(Internet-Based Testing)(パソコンで試験を行う)実績があり、2024年度2学期からは、通信指導提出もWebで行うようになります。デジタル化の流れは、コロナ禍以降急速に広がりを見せ浸透しつつあります。

『波濤』第64号にも記載しましたが、DX化は企業や行政の効率化ばかりではなく、最新のデジタル技術で人々の生活をより良いものへ変革することが本来のDXです。

【紙の文書を読む習慣】

一方活字文化に慣れ親しんできた私たち世代にとって、新聞・書籍や会報『波濤』などは印刷物(紙)を読むことにより理解します。Webにより自宅のパソコンで印刷し、それを読む方も多くWebへの移行時期は段階的移行の要望が強くDX化の時代とは言っても急に舵を切るのは出来ず、物流コストの増加を加味した「年会費」の変更を含む段階的移行を検討して参ります。現状では2025年度から年会費値上げをせざるを得ない状況におかれています。なお今年度(2024)の運送費等のコスト増は繰越金で処理いたしますのでご理解をお願いします。



Data: 図表で見る神奈川同窓会会計推移より抜粋

第 35 回通常総会報告

5月23日に神奈川同窓会の第35回通常総会が開催されました。インターネットでのZoom方式で実施され、新旧役員はなるべく神奈川学習センター第3講義室に設けた配信用スタジオから参加するようにしました。

今年度も同窓会顧問の大谷英雄神奈川学習センター所長のご出席とご挨拶をいただきました。

総会の結果は次の通りです。

*日時：5月23日(木)13時30分～15時20分

*参加者数：Zoom及びスタジオでの参加22名
：葉書による議決権行使での参加254名
：合計276名

*議案の賛否

第1号議案	賛成多数で承認
第2号議案	〃
第3号議案	〃
第4号議案	〃
第5号議案	〃

*結果

各議案は賛成多数で全て承認されました。

【お願い】

総会の議案書にもありますように、『波濤』などの印刷物の発送作業や「物流の2024年問題」から大幅なコストアップによる送料の問題など、今後対応を検討しなければなりません。また役員の高齢化や体調不良などによる退任役員の増加、新任役員の不足などの問題もあります。

今後役員会で検討して参りますが、会員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。(飯塚武夫)



2024 年度役員体制

第35回神奈川同窓会通常総会は、昨年と同様インターネットでのZoom方式で開催となりました。コロナ禍は2023年5月に解除され徐々に対面方式に移行しつつありますが、他の感染症を含めた推移を見、学習センターとも相談しながら進めております。Zoom方式は、神奈川県在住者以外の遠隔地に在宅している方も参加することができ、有用なツールです。

2024年度の役員体制は下記の通りです。副会長の高橋照夫氏は任期中体調を崩し、現在は回復していますが大事を取り退任する運びになりました。永い間「理事・副会長等」を歴任していただきありがとうございました。(金田保男)

役 職	氏 名	主な担当
会長(再任)	金田保男	
副会長兼事務局長 (再任)	木下義則	事業関係(総務主) サークル協議会(主)
理事(再任)	安達美帆子	サロン(主)
理事(再任)	佐藤 敬	波濤編集(主)
理事(再任)	永井藤樹	波濤編集
理事(再任)	木村多一	波濤編集
理事(再任)	宮崎博之	HP・役員ネット(主)
理事(再任)	清水丈正	HP・波濤ネット(主)
理事(再任)	田代和嘉	プラン・あしなが(主) 会計(主)
理事(再任)	佐々本幹夫	プラン
理事(再任)	家田 禮	茶道同好会
理事(再任)	澤村雅嗣	太極拳
理事(新任)	山崎正之	企画
理事(新任)	谷本美知子	会計(収納)
監事(再任)	市川つわ	会計監査
監事(新任)	田辺桂子	会計監査
准役員(再任)	小田妙子	波濤編集
准役員(新任)	飯塚武夫	総務(役員会)
准役員(新任)	万場由美子	総務
准役員(新任)	村田カズ子	あしなが育英会
顧問(再任)	大谷英雄	

2023 年度

学位記授与式・祝賀パーティ報告

2023年度の学位記授与式は2024年3月23日(土)、ベルサール高田馬場で挙行されました。式典は11時から始まり国歌演奏、来賓・出席者の紹介、卒業証書・学位記授与と進みました。卒業・修了者数は教養学部 6280 名、修了生は大学院修士課程 219 名、大学院博士後期課程 3 名の合計 6502 名でした。

岩永学長の式辞のあと来賓祝辞では放送大学同窓会連合会の南谷会長も挨拶され、卒業生・修了生謝辞と続きました。そのあと各種表彰式があり、名誉学生の表彰では神奈川同窓会の家田 禮さんが代表として授与されました。そして学位記授与式は学歌演奏をもって12時に終了しました。

このあと5年ぶりの祝賀パーティは京王プラザホテル新宿で行われるため、参加者は貸切バスで移動しました。小雨が降ったり止んだりの天候でしたがバス乗り場までは同窓会連合会実行委員の誘導班が誘導し、バスには添乗班の担当が乗りホテルの会場への入場方法、今回初めての個食券の使い方、記念集合写真撮影などについて説明しました。

祝賀パーティは午後2時から始まり、学歌、主催者の開会挨拶、退任される先生への記念品贈呈が行われ、高橋理事長の挨拶と乾杯のご発声により食事と歓談が始まりました。アトラクションのジャズ演奏を聴きながらテーブルでは楽しく語り合い、今回も用意された銘酒コーナーのお酒を楽しませていました。後半には3か所で記念の集合写真撮影が始まり、放送大学同窓会連合会のホームページに掲載される予定です。

午後4時の終了時間はあっという間に過ぎ、会場の出口では実行委員の皆さんでお見送りし、これも今回初めてですが紅白饅頭を用意し持ち帰っていただきました。(佐藤 敬)



神奈川学習センターの皆様

卒業生の言葉

老而學、則死而不朽

中田博久



2017年4月、定年を機に入学し7年間かけて「人間と文化コース」を卒業しました。本コースの選択理由は大学で工学を学び、歴史をはじめとした人文科学系科目を真剣に取り組んだことが無く大変興味深かったからです。

入学手続き後大学本部から送付されてきた「授業科目案内」には面白そうな科目が満載でした。担当講師陣は各分野で著名な講師陣が勢ぞろいでした。国際政治学の大家、高橋和夫先生の「パレスチナ問題」、青山昌文先生の「西洋芸術の歴史と理論」、草光俊雄先生の「ヨーロッパの歴史」、御厨貴先生の「権力の館を考える」、魚住孝至先生の「文学・芸術・武道に見る日本文化」など語りつくせぬほどの名講義のオンパレードであり、片端から受講したのはいうまでもありませんでした。

また何といても面接授業で先生方の熱がこもった名講義は迫力満点でした。各都道府県に学習センターが設置され、地域色豊かなテーマの面接授業が設定されているのも放送大学ならではの特色でしょう。残念ながら2020年に発生したコロナ禍で遠隔地の面接授業を受講することが出来なかったのですが「社会と産業コース」に再入学することとなり今後の楽しみとします。

また学生生活の楽しみであるサークル活動は「神奈川放友会」と「スペイン語研究会」に所属し、気の合う仲間や面倒見のいい先輩達と楽しく学生生活を送っています。若い頃の学友も良いものですが、放送大学生は年齢層が幅広くまた社会人として各分野で活躍した歴戦の勇士や現役の方が豊富であり話題に事欠かない頼もしい集団です。

「人生100年時代」といいますが、良く生きるためには江戸末期の儒学者である佐藤一斎の教えのごとく、「老いて学べば、則ち死して朽ちず」の精神でこれからも学んでゆく所存です。

卒業生の言葉

豊かで充実した後期高齢期を放送大学で

土方洋次



3回目の卒業です。2016年4月に「社会と産業コース」に入学し、継続入学で「心理と教育コース」を経て、2024年3月「生活と福祉コース」を卒業しました。1回目はコロナ禍で学位記授与式は中止。

2回目は両国国技館で挙行され出席しましたが祝賀パーティは中止。3回目の学位記授与式は「ベルサール高田馬場」で、祝賀パーティは「京王プラザホテル新宿」で行われました。3回目は妻同伴で出席しました。

放送大学に在籍した8年間は、妻は文句を全く言わず、放送大学の勉学に集中させてくれた。ありがたかった。ちなみに8年間で204単位とエキスパートプラン14種を取得しました。晴れやかな雰囲気の中で達成感を胸に卒業生は、学長式辞、来賓祝辞、卒業生謝辞を心地よく聞かれたと察します。祝賀パーティは一層晴れやかで打ち解けた雰囲気の中で行われました。小生のテーブルは、夫婦で出席された2組と同席で、大いに会話が弾み豊かで幸せな時間を過ごすことができました。

今回3回目の在籍で以下3点について述べます。

(1) 楽しかったこと：単位互換制度を活用して、横浜国立大学「高齢社会とリスク」を受講しました。学生60名ほどの教室の前列に座り、楽しく勉強と会話ができました。学園祭は妻と一緒に楽しみました。

(2) 苦しかったこと：卒業研究『アロン・アントノフスキーによる健康生成モデルの検証並びに高齢者医療費削減への提言』をまとめました。特に題名と何を骨子にすべきかに苦労しました。そのために放送授業「健康への力の探究」を何度も何度も復習をしました。

(3) 今後の予定：「自然と環境コース」に継続入学。もう一つは、小・中学校からのSOSで学習支援をボランティアとする藤沢市市民活動プラザに人材登録をしました。81才であっても、面接者より子どもを安心して任せられる。意欲がある。心身が健全等々で登録が許可されました。

名誉学生の言葉

名誉学生の代表になって

家田 禮



私が放送大学に入学したのは、平成2年(1990年)4月で「生活と福祉」専攻です。入学してまもなく義父母が認知症になりその介護のため大変でしたが、学友が心の支えになってくれたので、勉強も

続けられ感謝でいっぱいになりました。

このような状況だったため1回目の卒業は時間がかかりましたが、2回目からは「人間の探求」「発達と教育」「自然と環境」「社会と産業」と自分のペースで進めることができました。中でも「自然と環境」の勉強では、横浜国立大学の藤原先生との出会いがあり、山野草との語らいは心癒されるひと時でした。「植生研究会」には今でも所属しています。

そして6回目は「情報」コースとなり、難しく苦労の連続でしたが、専攻とコースを合わせ6回卒業することができ「名誉学生」の称号をいただくことになりました。

2023年度の学位記授与式(2024年3月23日)で、名誉学生の代表として表彰を受けるようお話をいただいたときは、びっくりし「どうして私が！」と思いました。学位記授与式を終え何とかその責務を全うできたかなとほっとしています。

大学では年齢差を超え、特に南関東7学習センターの合同プロジェクト「第九を楽しむ」では多くの友との繋がりが持てました。張りつめた日々のなか、一人ひとりの体験は違っていても共にできることを願い、これからも放送大学、茶の湯と新しい気持ちで進みます。



名誉学生の言葉

放送大学15年を振り返って
～肩肘張らず、マイペースで過ごした15年～

松下正博

私は64歳で完全退職し時間が余ってきたので、テニス仲間(サークルの人間研会員の方)から放送大学への入学と学園祭の参加を勧められました。学園祭当日、人間学研究会(人間研)の新規加入者として紹介され、入学前にこのサークルに入会しました。従って入学動機は「暇つぶし」が大きいです。

入学後1年目は学園生活に慣れるため、馴染みある用語が多い「社会と産業」コースを申込み、1学期目の科目は1教科で様子を見る新入生が多いとのアドバイスどおりにし、その後、教科数を増やし、結果として4年で卒業しました。「社会と産業」コースは予想した通り単位も取りやすかったのですが、卒業を先延ばしすべく、他コース科目も先行取得し、次の選択コースで取得科目数を減らすことができました。

2回目の「生活と福祉」コースは3年、3回目以降の「人間と文化」「心理と教育」「自然と環境」「情報」の各コースを各2年、合計15年かけて6コースを卒業しこの3月、80歳で名誉学生になりました。体調が良いときは、学期ごとに放送授業3～5教科、面接授業2～4教科をとりましたが、入院等で体調不良のときは前者が0～2、後者が0～1のペースでした。

楽しかったことは種田ゼミの1泊研究旅行でした。小人数で和気あいあいの雰囲気の中、会話や食事をして、また、海岸の磯で生息する小生物を採集して名前を調べ、先生の解説を拝聴したことなどです。

病気や怪我で何回も入院しました。3年前には帯状疱疹で、1か月以上の入院治療・リハビリを体験し、更に、家の近くで転倒した時も1か月以上の入院となり、要介護2の認定を受けました。しかしながら、マイペースでプレイしていたスポーツと同様の学生生活を送ってきたような気がします。

最後になりますが、「ヘッドライト・テールライト旅はまだ終わらない!!」。これからも面接授業を受講し、放友会を始めとしてサークルの行事にも参加します。引き続きよろしく願いいたします。

【弘明寺サロン兼秋の行事】

「横須賀散策」報告

2023年10月27日(金)、第72回弘明寺サロン兼秋の行事「横須賀散策」を実施しました。参加者は19名。NPO法人よこすかシティガイド協会の3人のガイドさんに案内をお願いし、歴史と文化遺産と海軍の街「横須賀」を巡りました。

当日は穏やかな良いお天気で絶好の散策日和となりました。集合場所のJR横須賀駅からヴェルニー公園を歩いてヴェルニー記念館やティボディエ邸などを見学。その後「YOKOSUKA 軍港めぐり」のクルーズ船に乗り、横須賀港の基地に停泊している海上自衛隊や米海軍の艦船を眺めながら約45分の解説付きクルーズを楽しみました。停泊している艦船の数は日によって異なるそうですが、当日は多くの艦船や潜水艦が停泊していて間近から見る事が出来ました。

昼食はMIKASA CAFEで「横須賀海上自衛隊カレー」を味わいました。昼食後、「どぶ板通り」を通って米軍ベース正門の見える交差点へ。三笠公園通りを三笠公園に向けて歩きながら、かつてこの地域にあった海軍機関学校など戦前の横須賀に思いを馳せました。三笠公園では世界三大記念艦の一つである記念艦「三笠」で展示物などを見つ艦内や甲板を観覧し、最後に三笠公園での記念撮影の後、解散となりました。神奈川同窓会会員でもある藤本勲さんをはじめガイドの皆さんには大変お世話になりました。

弘明寺サロン「横須賀散策」は当初2020年2月に実施の予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により実際に中止となりました。3年半ぶりの念願の実施で、何人もの方から「楽しい散策でした」との感想をいただきました。

(安達美帆子)



第14回ミニサロン紙上発表

ハーレーで日本一周
～ 68 歳からの挑戦～

前嶋昭夫

私は、高校時代からバイクが好きで社会人になってもバイクに乗っていました。バイク乗りの憧れハーレーダビッドソンにいつかは乗りたい、また、ハーレーで日本一周をしたいと夢見ていました。

定年退職を機にハーレーダビッドソン「FLHTC エレクトラグライド 1580cc」を購入し、ツーリングに参加して腕を磨き大型バイクの扱いに慣れたので、日本一周を実行することにしました。どのように廻るかいろいろ悩みましたが、次のような方針を決めました。

1. 東日本と西日本に分け、それぞれ2ヶ月程度で廻る（沖縄県は日数がかかるので断念する）
2. 1県当たりの滞在日数は、2～3日程度とする。
3. 重点訪問先を①天守閣のあるお城 ②五重塔 ③ダチョウ牧場の視察 ④各地の友人・知人に会う。
4. 宿泊先は、低価格の旅館・ビジネスホテル・民宿を探して2～3日後を予約する。
5. 各県の訪問地を決め、一筆書きでルートを決定して、毎日の行程表とルート一覧表を作成する。



この計画を立てるのに約4か月かかりました。

【東日本・挫折編】

2016年(平成28年)5月8日(日)に出発して、千葉県・茨城県・栃木県・福島県まで行きましたが、途中2度ほどバイクを転倒させ400kg近いバイクを一人で起こそうと無理したため腰痛が始まり、痛みに耐えられず2日間旅館で静養しましたが回復しないので、断念して帰宅しました。10日間、2,050kmの旅でした。腰椎圧迫骨折と診断されて、ほぼ寝たきり状態で完治するのに3か月かかりました。

【東日本編・再挑戦】

懲りずに一年後の2017年(平成29年)5月16日(日)に東日本の続きの宮城県仙台市に出発しました。宮城県・岩手県・青森県と順調に旅を続けて、大間からフェリーで北海道函館に渡りました。さすがに北海道は広いので、海岸沿いに一周しましたが15日を要しました。日本最北端の宗谷岬に到着したときは感激でした。途中、計画していなかった利尻島も廻ってきました。函館から青森市にフェリーで戻り秋田県・山形県・新潟県・群馬県・埼玉県・東京都から神奈川県に無事戻りました。38日間、走行距離7,496kmの旅でした。

【西日本編】

3カ月後の2017年(平成29年)9月12日(火)に西日本に出発しました。まずは出身地の山梨県から長野県・新潟県・富山県・石川県・福井県・京都府・兵庫県・鳥取県・島根県・山口県から関門トンネルで福岡県に行き、佐賀県・長崎県・佐賀県・熊本県・鹿児島県・宮崎県・大分県の九州一周して福岡県から再び山口県に戻り広島県からしまなみ海道で愛媛県に行き、高知県・徳島県・香川県と四国一周して瀬戸大橋で岡山県に戻って、兵庫県・大阪府・京都府・滋賀県・京都府・奈良県・和歌山県・三重県・岐阜県・愛知県・静岡県から神奈川県に無事帰って来ました。73日間、走行距離11,715kmの旅でした。

【まとめ】

全日数121日、走行距離21,261km、ガソリン使用料1,171ℓ、訪問先700箇所、総費用218万円の日本一周の旅でした。途中転倒やカーナビの不具合で行く先を間違えるなど数々のトラブルはありましたが、何とか無事に終える事が出来ました。ただ一つ悔やまれるのは、福岡県飯塚市で脇見運転により橋の上で渋滞停車中の軽4輪車に追突事故を起こしてしまったこと。幸い相手の方に怪我は無かったので良かったです。旅行記の自費出版もでき、良い経験ができて見守ってくれた家族と愛車ハーレーに感謝です。



【年末特別講演会】

「関東平野全域に分布し、横浜市に露出する前弧海盆堆積物とは何者なのか？」

神奈川県同窓会は2023年(令和5年)12月16日、放送大学客員教授であり横浜国立大学名誉教授であられる間嶋隆一先生をお招きし「関東平野全域に分布し、横浜市に露出する前弧海盆堆積物とは何者なのか？」と題して、神奈川学習センター第8講義室とZoomによるオンライン参加のハイブリッド型で年末特別講演会を開催しました。講演内容をまとめましたので報告します。会場には24名 Zoom オンラインでは23名合計47名の会員が参加されました。

講演概要(間嶋先生より)

関東地域は房総半島沖のプレート境界3重会合点によって地球科学的に規制されており、世界で最も地殻変動の激しい地域の一つとして位置づけられます。私たちの研究テーマは関東地域の過去数百万年の歴史を地層の解析を通して知ることです。今回の講演では私たちの最新の研究成果を加えながら、横浜市周辺の地球科学的意味を考えたいと思います。

1. 三浦・房総半島の地質

上総層群(322万年前～45万年前に堆積した海成堆積物)は前弧海盆堆積物で地層の厚さは3000mに達する。この様な若い時代の深海堆積物が現在陸上に露出しているのは世界でも三浦・房総半島だけである。上総層群は、280万年間の相模湾周辺で起こった地球科学的イベントを記録している。

2. 前弧海盆堆積物とは何か

海溝と火山前線の上に位置し、地震によって海盆が沈んで行く事によってたまった堆積物。

3. 横浜市は地磁気境界だらけ!! 研究成果

地球の磁気は定期的に南北が逆転しており三浦半島、金沢文庫周辺(金沢自然公園、浦郷、貝山地域など)の地層のボーリングコアを採取し調査

すると、逆転した地磁気境界が多数発見され、この地域の地層変動の激しさが記録されている。地磁気の変動は地球規模で同時期に起こる。この調査によって、地表に確実な時間面(地磁気境界)を引き地層の年代を精密に復元出来た。地層の年代の決定は地質学で最も基礎的な成果である。

4. 各地の地震による地殻変動の実例

平成23年東日本大震災では陸前高田市の博物館支援に行き、その惨状を調査した。市全体が1m位沈降した。昔から津波被害の多い地域だったが、チリ地震津波被害を受けその経験から各種の対策を講じたが、全く役に立たなかった。地震後、各地に残る神社などには過去の津波が記録されていたが対策には反映されていなかった。明治24年濃尾地震では数十kmに渡って最大横ずれ8m、最大上下変位6m地表がずれた。昭和5年北伊豆地震では丹那断層が動き当時掘削中だった東海道本線の丹那トンネルが2.4m程度ずれた。

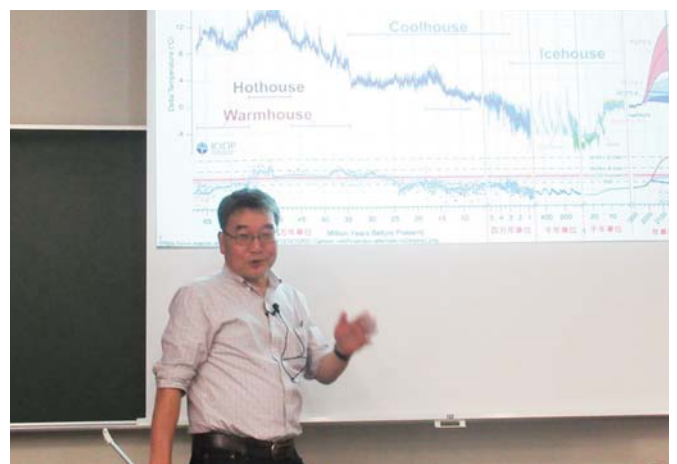
【結論】

私たちの住む相模湾沿岸部のテクトニクスは世界に唯一存在する海溝・海溝・海溝型のプレート三重会合点によって規制されており、地球科学的に見ると世界で最も活動的な、言葉を変えると世界で最も激甚災害の起こりやすい場所の一つである。

地震国日本に住む我々への間嶋先生の金言

1. 愚か者は経験に学び、賢いものは歴史に学ぶ。
2. 自分の命は自分で守れ。

(木村多一)



社会貢献活動（プラン）

神奈川同窓会では 2023 年度に、6 人の支援・交流しているチャイルドに計 360,000 円を、「トルコ・シリア地震緊急支援」に対し特別援助金計 50,000 円を、Plan International Japan（プラン）を通じて寄付いたしました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



エクアドルの Oswaldo（11歳男子）について、プランより「一年の歩み」が送られてきました。Oswaldo や家族に変わりはなく一年を過ごしたとのこと。Oswaldo は初等教育を受けており、好きな時間は遊び時間とのことでした。神奈川同窓会では今後ともチャイルドへの支援・交流を続けてまいります。

（田代和嘉）

社会貢献活動（あしなが育英会）

2023 年度の神奈川同窓会総会は Zoom 開催でしたが、5 月に新型コロナウイルス（COVID-19）が 5 類相当に移行し対外活動も可能になりました。9 月のサークル協議会主催学園祭や神奈川 SC の秋の入学式は特定の学生対象でしたが対面で叢書販売を行うことができました。

更に嬉しいことに、神奈川学習センターでの面接受講者から叢書購入の依頼が 2 度電話であり、私が神奈川 SC に足を運び叢書販売に対応しました。ロビーの掲示板の叢書一覧表を見られての現役学生の学びへの思いと、叢書販売ができた事への安堵感を味わうことができました。コロナ禍が続く中、Web 販売の可能性を模索していましたが、今回も少なからず「あしなが育英会」へ寄与できました。

（村田カズ子）

事務局だより

《新入会者ご紹介》

2023 年 12 月 19 日発行の『波濤』66 号掲載以降の新入会員は下記の通り 17 名の方々です。心より歓迎申し上げます。（敬称略）

内田由紀子	唐島田朋広	鈴木雅樹	高森 信
川端清水	宮盛康友	大熊 実	尾田佳秀
中田博久	村松治郎	野口英子	神保美保
河崎美枝子	甲斐詩麻	内田妃柳	戎 恒行
今関栄一			

《お願い》

住居移転のあった方や、Mail アドレスを変更された方は、次のいずれかの方法でご連絡をお願いいたします。

- ① 放送大学神奈川同窓会のホームページから。
<https://hatoh.net> の「入会案内」の「申し込みフォーム」から「住所変更」または「メールアドレス変更」と連絡事項に追記し送信。
- ② メールの方は下記アドレスで。
E-Mail: kyoshi@at.wakwak.com 木下義則
- ③ ハガキの方は下記住所へ。

〒232-0061 横浜市南区大岡 2 丁目 31-1
放送大学神奈川学習センター内

神奈川同窓会 木下義則

「名誉学生」のお知らせ

令和 5 年度は神奈川学習センター所属の 6 名の方が「放送大学名誉学生」の称号を取得されました。おめでとうございます。

訃 報

保田昌男 様

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

しばらくぶりに対面による「弘明寺サロン講演会」が開催されましたが、紙面の都合により 68 号に掲載いたします。（佐藤 敬）